



2022年度

ユネスコスクールとして

～山手の地域と共に育む「ローズマインド」～

福山市立山手小学校

1. ユネスコスクールとは

• ユネスコスクール

人種，性，言葉又は宗教の差別なく確認している正義，法の支配，人権及び基本的自由に対する普遍的な尊重を助長するために教育，科学及び文化を通じて諸国民の間の協力を促進することにより，平和や国際的な連携を実践する学校。

2. ESDとは

- ESD = 持続可能な開発のための教育

環境

貧困

人権

平和

開発

自らの問題として捉える

身近なところから取り組む

新たな価値観や
行動を生み出す

持続可能な社会
の創造

3. ESDの基本的な考え方

人格の発達

「関わり」「つながり」を尊重
できる個人を育む



4. SDGSとは

• SDGs = 国連持続可能な開発目標

17のゴール

貧困をなくそう

飢餓をゼロに

すべての人に
健康と福祉を

質の高い教育を
みんなに

ジェンダー平等を
実現しよう

安全な水とトイレ
を世界中に

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

働きがいも
経済成長も

産業と技術革新の
基盤をつくろう

人や国の不平
等をなくそう

住み続けられる
まちづくりを

つくる責任,
つかう責任

気候変動に
具体的な対策を

海の豊かさを
守ろう

陸の豊かさを
守ろう

平和と公正を
すべての人に

パートナーシッ
プで目標を
達成しよう

5. 本校のユネスコスクールの状況

ユネスコスクール・キャンディデートに承認！！

申請から加盟まで

赤字:加盟希望校の主な作業

※令和3年5月時点



①市町村立学校^{※注1}
の場合

②都道府県立学校^{※注1}
の場合

③私立学校^{※注1}、
専修学校、各種学校
の場合

④国立学校^{※注1}、
左記以外の学校、
教員養成大学等の場合

加盟希望校は、ユネスコスクール事務局(ACCU)のユネスコスクールウェブサイト上の加盟希望フォーム(日本語)に必要事項を記入。

ユネスコスクール事務局から確認の連絡を受けた学校は、所管の教育委員会等^{※注2}に、ユネスコスクール加盟に向けて申請手続きを進める旨連絡の上、ユネスコ本部のユネスコスクールオンラインツールシステム(OTA)上のExpression of Interest(英語)を記入し提出。ユネスコ本部から受付完了のEメールを受信したら、ユネスコスクール事務局へ連絡。

1. Expression of Interestの情報をもとに、ユネスコスクール事務局が ASPUnivNet加盟大学から担当大学を決定。担当大学を加盟希望校へ紹介し、「チャレンジ期間」(=原則1年間)開始。
2. 加盟希望校は、チャレンジ期間中、担当大学等の指導助言を得つつ、活動報告書及び確認シートを意識して活動を行う。
3. 加盟希望校は、確認シートに記載の確認資料を担当大学へ提出
4. 担当大学は、確認資料等に基づき、確認シートに沿って、チャレンジ期間終了の可否を判断。可の場合は、担当大学が活動報告書に推薦コメントを記入し、事務局から加盟希望校へ送付。
5. 加盟希望校は、活動報告書を完成し、ユネスコスクール事務局(電子データ)及び所管の教育委員会等へ提出。

市町村教育委員会へ提出^{※注3}

都道府県教育委員会^{※注3}へ提出

都道府県知事部局^{※注3}へ提出

日本ユネスコ国内委員会(文部科学省)へ活動報告書を提出^{※注4}

ユネスコ本部が各校へ Application form 提出案内のEメールを送信
→加盟希望校は、Eメール受信後、OTA上で Application form (英語)を記入し提出。

- ・日本ユネスコ国内委員会が Application form 提出を確認後、ユネスコ本部に加盟申請^{※注5}
- ・日本ユネスコ国内委員会から「ユネスコスクール・キャンディデート」として日本国内ネットワークへの加盟・参加を認める通知を送付。

ユネスコ本部の審査を経て、ユネスコ本部が日本ユネスコ国内委員会宛てに認定証等を送付

日本ユネスコ国内委員会が所管の教育委員会等へ認定証等を送付。教育委員会等が各学校へ認定証等を送付。

日本ユネスコ国内委員会が各学校へ認定証等を送付

これが次の動きになります。

6. 本校のユネスコ単元(令和4年度)

- 1年生 生活科「はなや やさいと なかよし」
- 2年生 生活科「わたしの町 はっけん」
- 3年生 総合「わたしたちの市のようす」
- 4年生 総合「平和について考えよう」
- 5年生 総合「災害から山手町を守ろう」
- 6年生 総合「平和な世界を目指して」

表現力

忍耐力

ESD

SDGs「平和と公正
をすべての人に」

SDGs「住み続けら
れるまちづくりを」

コミュニケー
ション能力

6年間を通して、山手の地域と共に
「ローズ・マインド」を育成

7. 今年度(2022年度)のポイント

●昨年度の成果・課題を活かす

子どもたちの疑問や
興味から課題設定

タブレット、インタ
ビューなど様々な方
法での調べ学習

相手に伝わるような
表現の工夫

生活や総合だけではなく
他教科と関連した実践

学習のまとめを発表・
発信

山手町を意識した
「私たちのSDGs」を
達成！！

●タイムリーに各学年の実践を発信

1回目:6月末
「各学年の単元と
めざす姿」

2回目:随時
「各学年の単元
の実践状況」

3回目:2月末
「各学年の単元
の成果と課題」